

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
富田林駅南地区

平成23年6月

大阪府富田林市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	来街者数 (重要文化財旧杉山家住宅の年間来館者数)	人/年	10,000	30,000	13,294	確定 見込み ●	△	あり なし ●	9,947	H23年4月	△	評価値の見込み推計が甘かった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	近年減少傾向にあった入館者数の減少は抑制されており、寺内町に立寄る来街者数は増加している。
指標2	駅前広場満足度	1~5段階	2.26	3	2.92	確定 見込み ●	△	あり なし ●	3.04	H23年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	暫定整備として連続した歩道整備を行うことにより歩行者の安全性・快適性の向上が図れた。
指標3	NPO等活動団体数	団体	1	3	6	確定 見込み ●	○	あり なし	7	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくり協議会が設立されたことにより、まちづくりに対する関心が高まり、新たにまちづくりに寄与する団体が設立された。
指標4	空き店舗解消	件	0	6	7	確定 見込み ●	○	あり なし	17	H23年4月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくり協議会及び空き家・空き店舗の解消を目的とした「有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構」(通称:LLPまちかつ)が設立されたことにより、まちの賑わいの再生へと繋がり、景観向上を図った道路美装工事との相乗効果により空き店舗が解消された。
指標5						確定 見込み		あり なし				<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	寺内町に立寄る来街者数	人/年	19,287	/	38,333	確定 見込み ●	/	/	31,805	H23年4月	/	評価値の見込み推計が甘かった。 <input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	まちづくり協議会が設立され、イベントや空き店舗を利用した社会実験等の活動により、まちの賑わいの再生へと繋がり、景観向上を図った道路美装工事との相乗効果により来街者数の増加が図られた。
その他の数値指標2	富田林駅南広場整備満足度	1~5段階	1.69	/	2.92	確定 見込み ●	/	/	3.04	H23年5月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	暫定整備として連続した歩道整備を行うことにより歩行者の安全性・快適性の向上が図れた。
その他の数値指標3			/	/	/	確定 見込み	/	/		H 年 月	/	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)	実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項	
<ul style="list-style-type: none"> ・成果を持続させるために行う方策 	まちづくり協議会の活動。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会が主体となり、地元団体と連携を図りながら年4回の寺内町四季物語のイベントを継続的に実施できるように協議会活動の支援を行った。 ・各商店会が連携を図り、富田林駅南地区の新たな魅力の発見を行なうとともに、得た情報を来街者に情報発信するための商業にぎわいマップ作成の支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度に行った年4回の寺内町四季物語のイベント開催により13,000人の来街者が訪れ、寺内町を中心とした富田林駅南地区の魅力・情報を地区内外に発信することができた。 ・商業にぎわいマップの作成することにより、各商店会の連携がより深まり、また、新たな魅力発見に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり活動を行う新たな人材発見・育成を行い、今後も継続した協議会活動が行えるようにする必要がある。また、地元町会を中心とした地元団体とより連携を図りながら、地元住民に根づいたまちづくり活動を行い、より効果的な協議会活動となるように支援していく必要がある。
	空き家・空き店舗の持続的な解消。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会及び空き家・空き店舗解消を目的とした「有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構」(通称:LLPまちかつ)の活動支援を継続的に行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後評価以降、「有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構」(通称:LLPまちかつ)として新たに5件の空き家・空き店舗の誘致に成功し、富田林駅南地区内でさらに5件の空き家・空き店舗が解消され、地区全体として合計10件の空き家・空き店舗の解消が行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「有限責任事業組合富田林町屋利活用促進機構」(通称:LLPまちかつ)の活動を行う新たな人材発見・育成を行い、今後も継続した活動を行うと共に、地域住民との連携強化を図っていく。
改善策 <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策 	歩行者の快適性・安全性の確保。	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の快適性・安全性の確保を目的とし、区域を拡大した富田林駅南地区についての新たな都市再生整備計画の作成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画事業を平成22年度より開始。 ・富田林西口駅から寺内町、石川河川敷から寺内町までのアクセス道路及び寺内町の外周道路の整備を行い、歩行者の快適性・安全性を向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の快適性・安全性を持続できるための継続的な維持管理。
	市の玄関口に相応しい交通結節拠点の整備。	<ul style="list-style-type: none"> ・富田林駅南広場の本整備を含んだ、富田林駅南地区の新たな都市再生整備計画の作成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市再生整備計画事業を平成22年度より開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・富田林駅南地区について。社会資本整備総合交付金事業の円滑な実施を図る。
	寺内町に立寄りやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・寺内町に隣接した大阪府管理の石川河川敷をイベント開催の際に臨時的駐車スペースとして活用できるように大阪府と協議を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府が平成23年度中に河川敷へ車両が乗り入れることができるように坂路を整備する予定ある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント開催時以外の駐車スペースの確保。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
富田林駅南地区に訪れる来街者増加を目的とした広域的な情報発信。	歴史・文化的な地域資源を活用してまちづくりに取り組んでいる他市町村及び大阪府、鉄道事業者、大阪府商工会議所等、様々な団体・機関と連携を図りながら、広域的なPR活動を実施していく。	平成23年度	様々な団体・機関との連携強化。